

食地主、世たしきはブルジョア政黨のフローカー共の相互利用機械として發達して來た。従つて之を生産組合化し勤勞農民本體の力對に徹底させようとすれば、外的關係や、内部釋放からみて干渉と内訌なくしては到底革

新することは出来ない。  
(2) 金融が産業組合信託上主觀者と共る點は金融では農業發展の根本的助善物は高率小作料と地主的土地私有制にありとしてをるに、産業組合金融上主觀は、生産手段所有者と小作農民共の福との利害の對立を輕視し又は放任してある點に判然たる差違がある

(3) 然しなから金融は勤勞農民にとつては流通過程上の布帛の一たることは出来る。又巨額の金融力と相當の母業上の設備とをもつてをるから之を従来の如く、農村上層者

にのみ利用させず積極的に参加せねばならぬ。

實行方法—縣廳新設の經濟部に—

○緊急勸諭

水害地對策の件

佐 保 高 提案

企救郡第一支隊關係地主小生大作、小作人平原助太郎の耕作は六月の水害に依り田及表土流出し植付不能となつてゐるか、若し地主が小作木を酌水する様な事があれば抗議文を發行し徹底的に抗争すること、抗議文作成の場合は委員長に一任 可 決

○緊急勸諭

組合員の災害見舞に關する件

堀 口 專 正 提案

子供の葬火より家屋焼失したる組合員立石某に對し見舞金の寄附を願ひ度しと語り即座に集りたる金七圓九錢を個人に